

# 元気もいもい木倉っ子

御船町立木倉小学校 学校便り 第10号  
文責：校長 坂本 政司



「有機米試食」  
木倉校区で有機米  
を提供された河地様  
(右・木倉在住)と  
給食センター長藤川  
様(左)です。手と  
心をかけたお米おい  
しかったです！

## 2024年の始まりに思うこと

皆様方の年末年始はいかがでしたか？日頃、会うことのできない方や年末年始に訪問する実家等の場所、まさにこの時期ならではの事があると思います。皆様にとって貴重な時間となったことでしょう。

さて、皆様もご承知のとおり、年始に大きな出来事がありました。令和6年1月1日(月)16時10分頃、石川県能登地方を震源とする最大震度7の大地震が発生しました。正月を楽しみにされていた皆さんの新年の大切な時を奪った地震。

熊本地震で被災した我々はその大変さが身にしみてわかります。しかし、能登地震はまさに元日、しかも熊本地震と違い、寒さ厳しい中の震災で、地震の瞬間からその後の避難まで、困難な状況です。

ここにお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

私は新年そして学校としての最終学期にあたり、改めて命の尊さを考え、児童の安全安心な学校作りに邁進します。

## 伝統・遊びを継承する大切さ

12月にPTA主催の餅つきが行われた件は、12月発行の学校だよりに掲載しました。

その後、本校では健全育成町民会議木倉支部様の主催で、校区社会福祉協議会及び本校PTA共催によるしめ縄作りが行われました。地域の方々も支援のため多く参加され、まさに木倉地区の素晴らしい伝統が受け継がれていることを感じました。

学校では昔遊びを低学年で行っています。下の写真は1年生が竹馬やこま回しを行っている姿そして、主に5年生がいつもお世話になっている福島様が5年生対象にしめ縄作りを伝えていただいた際のものです。

私は1年生のこま回しに参加し、子供達と遊びましたが、そこで気がつきました。それは昔の遊びは、できるようになるまで時間がかかるということです。私はこまの回し方を子供達に繰り返し伝えながら、「できるようになるまであきらめず繰り返し練習できるかな？」ということばかり考えていました。誰でもすぐにできて、楽しむことができることはよいことですが、繰り返し、あきらめず、工夫しながら時間をかけてできるようになったことの喜びはまた格別です。このようなことから昔遊びは伝統と粘り強く取り組むことを育む意味で大切だと改めて感じました。【こま回し】 【竹馬】 【しめ縄作り】



## 大谷選手からの贈り物

今や日本を代表するスポーツ選手である野球メジャーリーガーの大谷選手。史上最高額での移籍で日本のみならず世界を驚かせた選手であることは皆様ご承知のとおりです。

ニュース等で話題になったとおり、大谷選手から日本全国の小学校に合計6万個のグラブを贈るといっても足りない報告がありました。1月末、町の教育委員会を通して、本校にも3つのグラブがやってきました。御船町からもボールの贈り物をいただき、本校でそのことを児童に紹介すると共に、大切に使うためのルール作りをしているところです。

能登半島地震の被災地支援のために寄付を表明している大谷選手。これらの寄付だけでなく、メジャーでの振る舞いも子供達に学んでほしい選手です。このありがたい贈り物と大谷選手の気持ちに感謝です。

